

# 科目区分：共通基礎科目

授業科目名	教養セミナー					学期	曜日	校時
英語名	Freshman Seminar					前期	月曜日	V校時
担当 教官名	全学の教官	単位数	2 単位	必修 選択	必修	前期	火曜日	V校時
						前期	木曜日	V校時
						前期	金曜日	V校時
						前期		
授業のねらい・内容・方法								
<p>知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教官および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。実施方法としては、1クラス10名程度の複数の学部学生で構成し、原則として1名の教官が前期を通じて担当する（2名の教官が前半、後半を担当する場合もある）。</p>								
テキスト、教材等								
各教官の指示による。								
対象学生	成績評価の方法					教官研究室		
全学部	授業開始時に説明する。							
授業計画								
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新入生を2つのグループに分け、Aグループ（教育学部、経済学部、薬学部、水産学部の混在）を月曜日及び火曜日の5校時に開講し、Bグループ（医学部、歯学部、工学部、環境科学部の混在）を木曜日及び金曜日に開講する。</li> <li>2. 1クラスの学生は、10名程度とし、複数学部の学生が混在するクラスを編成する。</li> <li>3. 原則として1名の教官が前期を通じて担当、指導する（2名の教官が前半、後半を担当、指導する場合もある）</li> <li>4. 単位は15週（30時間）で2単位とする。学生が自主的に学習をすすめることが出来るよう、討論、実習、実地調査など体験的で双方向的学習形態をとるが、具体的な実施方法については、担当教官に一任する。</li> <li>5. 教養セミナーのテーマは、大学教育へのオリエンテーション機能を持つこと、学生が複数の学部生の混在であることなどを考慮し、学生との話し合いのなかで決定する。</li> </ol>								